

特集 ステークホルダーのウェルビーイングに貢献する主な取組み

住友生命は、お客さま・社会・ビジネスパートナー・地球環境・従業員というそれぞれのステークホルダーへの貢献を進めています。主な取組みとトピックスをご紹介します。

【各ステークホルダーへの主な取組み】

	● お客さまのニーズに応じた保障・サービスの提供 P.50 (個人) P.52 (法人) ● “住友生命「Vitality」”を通じた健康寿命の延伸 P.47	
	● 社会貢献活動の推進 P.34 ● 将来世代へ向けた取組み (FR活動) P.34 ● 自治体と連携したVitalityワーク P.51	 ● カーボンニュートラル社会実現への貢献 P.26 ● 責任投資の取組み P.32
	● 金融機関等代理店・保険ショップ等との連携 P.53 ● 業務提携を通じた商品展開 P.55 ● オープンイノベーションの推進 P.58	 ● 人財共育の取組み P.68 ● 従業員エンゲージメントの向上 P.71 ● DE&Iの推進 P.72 ● 健康経営の取組み P.73

【ステークホルダーごとのトピックス】

お客さま 3大疾病PLUS ALIVEの発売

がん・心疾患・脳血管疾患(以下、特定3疾病)は日本人の死因の約半数を占め、再発等で治療が長期化する可能性が高い病気です。このような状況をふまえ、2024年9月に「3大疾病PLUS ALIVE(特定3疾病継続保障特約+がん薬物治療特約の愛称)」を発売しました。従来商品より幅広い特定3疾病を保障対象とし、がん・心疾患・脳血管疾患それぞれで、支払回数制限なく何度でも、まとまった一時金をお支払いするため、治療が長期化しても安心

いただけます。

また、特定3疾病のリスク軽減に対しては、生活習慣の改善が重要です。本商品を健康増進型保険“住友生命「Vitality」”と組み合わせることで、特定3疾病のリスクに備えるだけでなく、特定3疾病のリスクを減らす、「真にお客さまのウェルビーイングに貢献する保険」の提供を実現します。



商品部 佐々木副長

生活習慣病である特定3疾病は、一度発症すると完治しない場合もあり、再発等によって治療が長引くと、外来治療費等の負担や、収入減少に悩まれるケースも少なくありません。こうしたお客さまからの声もふまえ、特定3疾病に罹患されても前を向いて生きる方々の“よりよく生きる”に貢献したいという想いから、「3大疾病PLUS ALIVE」を開発しました。

社会 将来世代への教育支援の新たな取組み

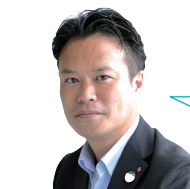
住友生命では、小学生から大学生の幅広い将来世代に対しての金融教育等の出前授業を実施しています。2024年度は、新たに「キャリア教育^{*}」の分野におけるプログラムを開始しました。他の民間企業と協業した課題解決型学習「仮想入社体験プロジェクト」です。

住友生命を始めとする各企業に生徒が「(仮想)入社」し、

企業が抱える課題の解決策を考える中で、探究する力や他者へ伝える力などを向上させることを目的としています。2025年度以降はさらに実施校を拡大して取り組んでいきます。



参加者が企業へアイデアをプレゼンする様子



営業総括部 兼 新規ビジネス企画部 山口上席部長代理

将来世代が多くの企業と触れ合う機会が増えることは、将来の夢の選択肢が広がることだと信じて、このプログラムを開発しました。実施後は、参加いただいた生徒だけでなく、先生方や、協業いただいた企業からも、多くの感謝の声をいただいております。将来世代と企業をつなぎ合わせる役割を住友生命がさらに担えるよう、引き続き取り組んでいきます。

^{*}一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育



住友生命デジタル共創プロジェクト～サントリー食品インターナショナルとの協業～

Vitalityを軸にデジタル活用や知見を活かし、他業種との協業を通じて非保険領域を含む新たな顧客価値の創造を目指す取組み「デジタル共創プロジェクト」の第一弾として、2024年にサントリー食品インターナショナル株式会社との協業を開始しました。

具体的には、当社のVitality会員へ、サントリー緑茶「伊右衛門 特茶（特定保健用食品）」（以下、特茶）の「無料引換え券」を一定期間提供するキャンペーンを実施し、特茶を摂取しながら健康増進活動を実施した場合の健康効果や健康意識の変化等を両社でデータ分析していきます。

2024年には、実証実験として、住友生命職員のVitality会員を対象に実施し、Vitalityステータスが上がるごとに交換本数が増加し、アンケートでは、利用者の約9割に運動意識が向上する傾向が確認されました。2025年には、150万人を超えるVitality会員を対象に実施していきます。

住友生命



SUNTORY
SUNTORY BEVERAGE & FOOD



情報システム部 小川上席部長代理

他業種との協業により、「ウェルビーイングに貢献する『なくてはならない保険会社グループ』」の実現に向け、社会に貢献できる当社の取組みはさらに広がります。引き続き、両社の協業をより進化させるとともに、Vitalityを軸に協業先を拡大し、Vision2030の実現に向けて取り組んでいきます。

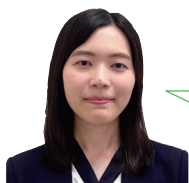


地球環境

ESG投融资 トランジションファイナンス

機関投資家として、トランジションファイナンスを積極的に行うことで、脱炭素社会の実現に向けた取組みを進めています。企業が脱炭素化に向けた移行（トランジション）を行うには、長期的な戦略に基づいて、製造プロセスを革新的技術に変えていくなど、温室効果ガスを削減する具体的な取組みが必要です。こうした取組みを行う企業へ、投融资を通じて資金供給（ファイナンス）することで、脱炭素社会への移行に貢献していきます。

当社では特に、電力、海運、ガス等の分野に対し投融资を行っており、2024年度までの累計投融资額は415億円となっています。



ALM証券運用部 渋谷主任

投融资先のトランジションが確実に進むよう、投融资前のトランジション戦略の確認から、投融资実行後の進捗状況のフォローアップまで、プロセス全体をサポートするという考えを持って取り組んでいます。今後も投融资先と対話等を行いながら、トランジションに向けた取組みを積極的に支援していくことで、脱炭素社会の実現に貢献していきます。



従業員

スミセイ「for your well-being」アワード

住友生命は2030年にありたい姿を「ウェルビーイングに貢献する『なくてはならない保険会社グループ』」と掲げています。その実現には、全ての職員が、一人ひとりとしてのウェルビーイングへの貢献を自分事として考え、行動に移していくことが重要です。

そこで「誰かのため」に貢献している職員にスポットを当て、表彰する「スミセイ「for your well-being」アワード」を、2024年度に初めて開催しました。

本アワードでは、「職員による推薦」を募り、推薦した職員は17,137名、推薦された職員は8,467名にのびりました。

全職員が、一人ひとりの生き方に寄り添いウェルビーイングに貢献する「for your well-being」を具体的に考え、実行していくことで、すべてのステークホルダーのウェルビーイングに貢献していきます。



ブランドコミュニケーション部 中村部長代理

今回は初の試みでしたが、8,000名超の職員への推薦があり、多くの職員が「誰かのため」に行動し、それを誰かが見てくれていることが実感できました。今後、受賞した職員の具体的な行動や想いを全職員向けのイベントで取り上げ、共有していく予定です。引き続き取組みを続け、全職員のウェルビーイングへの貢献意識を高めていきます。